

遊びながら 学びながら  
ときめき発見！

\*\*\* 本号のラインナップ \*\*\*

### まちの遊学人

一人でも楽しむことを考える

◆山田 農久 さん

ボランティア活動

～地域に貢献したい～

◆関口 忠男 さん

### サークル紹介

介護の世話にならないために

◆太極拳サークル

粕壁太極拳の会

指を使い、頭を使い

◆蕎麦の会・藤

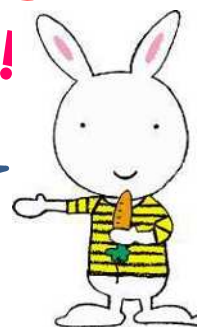
### 生涯学習事業レポート

◆親子工作教室  
(豊春地区公民館)

◆春の散策～ガイドと歩く春日部の歴史  
(武里地区公民館)

## 遊学1日体験教室を開催しました 11月から12月の期間で17講座を開催！！

新型コロナウイルスの感染防止対策のため参加人数が制限されている中、185人の参加者がありました。いくつかの教室の様子を紹介します。



初心者のためのテーブル茶道



フレイルにおける危険予知「転ばぬ先の太極拳」



自筆証書遺言の書き方講座



七宝焼



折り紙教室（乗りもの・雑貨・生きものを折ろう）



論語と中国古典を楽しむ

## まちの遊学人

一人でも楽しむことを考える

山田 農久さん（武里南地区）



山田さんの退職後の生き方は、「楽しく、お金をかけない、1人でやれることを探す」ことからスタートしました。

「まず、何をやるにも健康が1番、最大の資産は『体力』です。そこで、1日のスタートはウォーキングから途中畑に寄り、そして平方公園でラジオ体操に参加しています」と山田さん。

では、1人でも楽しむことを考えたことで、1人で何をやっているのかを紹介します。

- 1、ホタルの幼虫（800匹）を飼育。エサはタニシ。7月には近所で鑑賞会を開催。
- 2、貸し農園で野菜作り。11月は秋野菜（大根、玉ねぎ 等）
- 3、生涯学習の記録。

「はるがく帳」への記録は、ただ

- 今「195はる」（1学習11はる）。
- 4、「マンホール」巡り。マンホールの写真は、ただ今「260枚」（札幌市、遠野市、京都市、県内の市町村 等）
- 5、「歴史上の人物のお墓」や「お城」を巡ること。

歴史上の人物のお墓は、ただ今「54基」。（坂本龍馬、豊臣秀吉、渋沢栄一、徳川慶喜、和宮 等）お城は、ただ今「47城」。（姫路城、熊本城、松前城、松江城、高知城、中津城、首里城 等）

- 6、趣味で、貼絵、カレンダーの作成、山の田新聞を発行。
- 7、仲間との活動。

スポーツ推進委員、生涯学習市民推進員、ホタルの会会員、ふれあい大学31期生会員として活動。

山田さんのこうした幅広い活動は、まだまだ進行中です。



数々の蒐集品

ボランティア活動

地域に貢献したい

関口 忠男さん（庄和地区）



関口忠男さんは、地域のボランティア活動を長く続けています。

退職後、何かしら地域に貢献したいと始まった活動が、庄和地区市民大学でボランティアの意義を学び、多くの仲間との活動に広がっていきましました。

取材したこの日（11月末）は、川辺小学校の「凧作り授業」に「宝・凧の会」の仲間と、1年生の教室にいました。凧作り作業と、凧の飛ばし方、大凧あげ祭りの歴史など、子どもたちの質問に答えながらの楽しい2時間でした。

また、交通安全週間では、通学路に立ち、子どもたちの安全を見守る活動にも参加しています。

350本のサクラ並木入り口にある「庄和道の駅さくら公園」（春日部市



小学校で凧づくり

上柳）では、10年以上の歴史のあるボランティア活動団体、NPO法人「庄和ふる里を守る会」メンバーとして、月2回の大掛かりな清掃活動に作業リーダーとして汗を流しています。近年、サクラに大打撃を与えている特定外来生物指定「クビアカツヤカミキリ」の監視も大切な活動です。

そして、庄和地区公民館のラジオ体操から始まる定期清掃活動は、たさんの仲間と楽しく接する場になっています。

さらに、ホームヘルパー2級、振動工具取扱作業者（刈払機）、低圧電気取扱、家庭電器修理技士など60余の資格は、充実した活動の支えになっています。

結びに、「ボランティア活動を続けることで、健康で朗らかな人生を歩んでいきたい。喜んで貰えることが嬉しい」と話していました。

# サークル紹介

## 介護の世話にならないために

### 太極拳サークル「粕壁太極拳の会」 (粕壁地区)



粕壁太極拳の会の皆さん

当会は、太極拳を生涯スポーツとして継続したい人達が集まって平成30年に立ち上げた教室です。生涯学習市民塾や講習会で知り合った仲間達が主なメンバーで、藤田葆雄氏を指導者として粕壁南公民館で毎週金曜日に活動しています。

会のモットーは、「先ずは自らが介護の世話にならない為に努力すること」で、自分だけでなく介護予防を目指した普及活動も併せて行っています。母体は武術太極拳連盟の教室で、段級・指導員の資格を取得することもできます。活動内容は、ストレッチ体操と入門太極拳・24式太極拳です。狙いは、正しい姿勢でバランスの良い柔軟な動きとスリムな身体作りです。

動作としては単調な反復練習が多

いのですが、難しい動きが出来た時の達成感や、音楽に合わせて表演する時の連帯感を味わうことが出来ます。現在の会員は、10余名ですが、多くは女性の会員が占めており、男性の会員が更に増えることを期待しています。

会員の皆さんは、年齢を感じさせない体の柔らかさでゆったりと手足を前後、左右、上下に動かしています。体操実施中は皆、真剣そのものですが、体操の合間には先生のキャラクタもあって、とっても明るい雰囲気でも楽しくやるのが太極拳、といった感じですよ。

このように老若男女だれでも簡単に行き、しかも高齢者にありがちな転倒予防にも効果があります。

この2年間、各種のイベントが中止になり、活動の機会が減少しましたが、コロナ収束後は公民館フェスティバルや武術太極拳連盟の交流会などに参加し、日頃の練習成果を発表したいと思っています。



練習風景

## 指を使い、頭を使い

### 蕎麦の会・藤(内牧地区)



講師の横山忠弘さん

蕎麦の会・藤は内牧地区文化祭に平成27年から連続して参加しており、また内牧地区公民館で最も多く活動している会で、月8回活動しています。初心者の「蕎麦打ち教室」が月4回で、Aコース(木)、Bコース(土)各5時間の各2回、卒業生中心の「蕎麦打ち会」が月4回あります。

教室は各回4名の少人数に絞り、講師の実演・解説、参加者の実技・指導、試食と時間も長く技術は十分に身につくようですよ。

蕎麦の会・藤は、全国に250会員以上の一般社団法人「全蕎協」の正会員で、春日部市で平成26年に「蕎麦打ち教室」を発足し、その後「蕎麦の会・藤」となっています。会員は平均年齢60台後半の15名ほどで、常時7、8名が活動しています。

講師の横山忠弘さんは、若やかですが、75歳にならわぬとのことで「全蕎協」の師範・4段(最高の6段)であり、段位認定審査員も務めています。蕎麦打ちは男の料理教室に参加して、蕎麦打ちに興味を持ったことが始まりでした。蕎麦打ちはそば粉・天気・時間等により水加減を変えるなど頭を使い、指を使うことが健康に役立っています。また教えることが楽しみで自己の技術の伸長にも役立っているとのこと、その指導要領は時には厳しくあり、しかし人間性豊かな人柄とその温かみから会員に慕われています。

蕎麦の会・藤の益々のご発展、横山講師のご健勝を祈念しています。



頭を使いながらの蕎麦打ち

# 生涯学習事業レポート

## 親子工作教室

豊春地区公民館



おおっ！きれい

令和3年8月1日（日）、豊春地区公民館で夏休み親子工作教室を実施しました。工作内容は万華鏡づくりの体験で、小学生と保護者のペアを20組募集しました。応募は20組となり、定員に達しました。

当日の参加者は、17組の親子が参加しました。小学生17名と母親が14名、父親が3名でした。持ち物は、色鉛筆、のり、はさみと材料費の100円です。

材料は万華鏡の紙製の筒1本、中に入れる細長い鏡3枚（プラスチック）、様々な種類のビーズが入った筒の先に付ける容器、筒に貼る絵を描く用紙とのぞき穴の紙の5点でした。工作の中で最も時間をかけたのが、筒の外側に貼る紙に色鉛筆で様々な絵を描くことでした。子供達は、マンガのキャラクター、動物、花、デ

ザイン、乗り物など丁寧に描いていました。

一番難しいところは、筒の中に入れる3枚の鏡を作ることでした。3枚の鏡を内側に三角形にして貼り合わせ、筒の中に固定する作業でした。鏡がきちんと固定されないと、隙間から光が入り込み、様々な色のビーズの模様が鏡に反射しなくなってしまうです。

3枚の鏡を隙間なく合わせることで、筒の中にスポンジを入れて鏡を固定する作業がとても難しかったようです。

10時から始まった作業は、1時間30分ぐらいで出来上がり、様々な色のビーズが筒を回すことでいろいろな模様になり、子供達は大いに満足した様子でした。



万華鏡づくりに夢中

## 春の散策くガイドと歩く春日部の歴史

武里地区公民館



小淵山観音院仁王門

武里地区公民館・武里大枝公民館は、5月26日「春の散策くガイドと歩く春日部の歴史」を開催しました。

春日部観光ボランティアの会のガイドさんのもと北春日部駅に集合し、小淵地区を巡り「ぶらっとかすかべ」までを歩く4.2kmのプログラムです。

当日は、同公民館の利用者など18人が参加。コロナ対策の密集を避けるため2班に分かれて行動しました。ガイドさんの案内で、1つの宮に2社が入る鷲（さき）神社・鷲（わし）神社や市内唯一の修験寺院の小淵山観音院に立ち寄りながら3時間半の行程を歩きました。

小淵河畔砂丘の上に立つ鷲神社・鷲神社は、拜殿に向かって左側が鷲神社、右側が鷲神社という全国でも珍しい「一宮二社」の神社です。賽

銭箱もそれぞれに置かれ、境内は参道を境に分かれており、奥の本殿も扉は半分に分かれています。

鷲神社の場所は杉戸町の飛び地になっており、春日部市に囲まれています。また、小淵山観音院は春日部に唯一残る修験寺院であり、神仏習合の祈願寺でもあります。明治政府の神仏分離や廃仏毀釈の宗教政策によって、日本の神社や寺院は大きな影響を受けました。市内の修験寺院の多くが消え去りましたが、小淵山観音院は観音信仰の霊場であったため廃寺を免れ、現在も神仏習合の修験寺院の姿を残しています。

この散策を通して、春日部市にもこのような見所があることを発見できました。これから、春日部市の新名所として対外的にも広く浸透して行く事を期待します。

### 【お詫び】

遊学26号「街の遊学人」の山本孝司さんのお名前が「幸司」と記載されておりました。お詫びして訂正いたします。

生涯学習市民推進員（地区別）（※は編集委員）

【粕壁】	大塚和敬、市川実、藤田葆雄
【内牧】	磯谷健治、三輪勝
【豊春】	杉山充男、津布久常*、早坂隆*
【武里】	富岡一雄*、白川武文、水島芳子 岡田不二夫
【幸松】	嶺井美智子、赤堀良孝
【豊野】	小島直之、藍原馨*
【武里南】	山田農久*、高橋七郎、白井光夫、 角田範夫
【庄和】	沖田隆一、栗岡一矛、内山厚一*